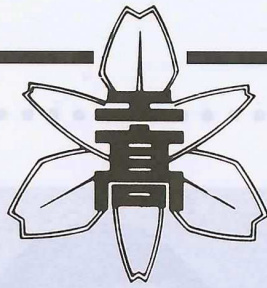


# 同窓会報



福島県立郡山北工業高等学校

平成8年2月29日 第46号 発行所/〒963 福島県郡山市富久山町八山田字大林1 福島県立郡山北工業高等学校同窓会  
☎0249(32)1199 発行者/増子 久治 編集者/外山 茂 発行部数/12,600部 印刷/(株)ヨシダコーポレーション



提供：ライブアート

## CONTENTS

同窓会会長あいさつ.....	②
同窓会定期総会を開催.....	③
企業内支部.....	④
学校長あいさつ.....	⑤
定時制だより.....	⑤
支部だより.....	⑥
生徒会だより.....	⑦
定時制に来て.....	⑦
部活動の活躍.....	⑧
進路指導.....	⑨
平成6年度決算報告.....	⑩
平成6年度基本金報告.....	⑩
平成6年度新会員報告.....	⑩
退職・転出者一覧.....	⑩
お知らせ.....	⑪



# 一言、ご挨拶申し上げます



同窓会会長 増子 久治

昨年六月の定時総会におきまして、先崎一郎前会長より、同窓会長を引き継ぎました増子でございます。先輩諸氏の長年に渡って築いて来られた伝統と、五十年余の歴史ある本校を考えると、今さらながらその重責に身の引き締まる思いが致します。

私のような、浅学非才に会長職が勤まるかどうか不安で一杯です。初代渡辺達

英会長の四十年にわたる堅実な時を経て、二代目先崎一郎会長の強靱な指導力により同窓会の在り方や企業内支部結成、計画から一年余の短期間で完成させたトレーニングセンター建設の実績など、それらの後の三代目として、どのように進んでゆくべきか、まだ指針が決まっておりませんが会長一年生として皆様のお役にたてるように努力して参る所存で

す。ご指導ご協力宜しくお願い申し上げます。戦後五十年の節目の年を迎えた今日、敗戦から半世紀、高度成長をとげ、今や世界一と成った経済、技術力、それらは先人達の血のにじむような努力と汗の結晶にほかなりません。本校の歴史も同じであると思います。

本校の前身校であります郡山工業高校も昭和十九年の開校により、現在の郡山商業高校に間借りしていたものを、自分達の独立校舎を持ちたいとの願いから署名運動に始まり募金などにより、昭和二十四年念願の校舎を持つ事が出来たと聞いております。今日のように買って与えられるのでなく自分達で努力を重ね手に入れた貴重な学舎なのです。今や同窓生も郡山工業高校、郡山西工業高校を含め今年卒業生を加えて一万八千名の大所帯となって参りました。特に今年は昭和五十二年の郡工、郡西工の統合により現校名となり二十年を迎えます。会員の皆様お一人お一人、いろいろな考えがあるかと思われませんが、『同窓会は一つ』を合言葉に気軽に総会などへの出席をお願いしたいとおもいます。

今年卒業される諸君には、今後社会へ行く人、又さらなる学問を求め進学する人、各自不安はあろうかと思いますが、本校で学んだ事を基にさらに努力していただきたい。特に実社会に直行する皆さんに申し上げたいのは、学校で学んだ事は、企業にとつては一握りの基礎知識でしかありませんが、その知識を活用するかどうかによって企業側の評価が変わってきます。創意工夫を忘れずに頑張ってください。終わりに、バブル以降の景気低迷は続いておりますが、郡山北工業高校卒業と言う自覚を持ち活躍していただきたいと思っております。





# 同窓会 定期総会を 開催！

講演「エイズについて」



平成7年度の同窓会定期総会は、平成7年6月3日(土)午後5時から郡山市虎丸町のホテルはまつに於いて開催され、来賓、会員や約310名が出席しました。先崎会長が「母校へ思いを共有し、育て上げ、発展に努めていこう」とあいさつしました。つづいて、北原正三学校長・七海清日立支部長のあいさつがありました。

議長選出、書記任命の後議事に入り、平成六年度庶務報告として会務報告・新会員報告・新職員報告、平成六年度決算報告・会計監査報告、平成七年度事業計画並びに予算についてなどの議案が承認されました。次の役員改選では、会長に増子久治副会長、副会長に宗像俊郎氏が新たに選出されました。その他の議事に入り、役員改選に伴い、規約により、先崎一郎前会長を同窓会顧問に推薦することを、満場一致で承認いたしました。そのあと、規約により、先崎一郎前会長と山川敏夫前日立支部長に記念品を添えて、感謝状が贈呈されました。その他の議題として、



れました。

総会の後、野内文雄先生(前郡山保健所所長)による「エイズについての講演が行われました。難しい医療現場の話しも、先生の巧みな話し方やユ

来年は北工創立20周年にあたり、その記念事業として①郡工・西工の校歌碑の移転②同窓会名簿の作成の事業について、事務局より提案があり、承認さ



1モア溢れる話し方で、講演時間があつという間に過ぎてしまいました。大変ためになる有意義な講演でありました。講演終了後、懇親会が行われました。小林清三PTA会長・同窓会相談役植田英一氏(県議)のあいさつをいただき、石井憲胤教頭の発声で乾杯致しました。来賓企業の方々や旧職員・恩師を囲んでの祝宴は、時を経つのを忘れさせ、なごり尽きないまま盛会のうちに閉会いたしました。また、この会が6月6日(火)付けの福島民友新聞に掲載されました。

# 企業内支部とは

平成3年4月に同窓生の多い企業内に設立されました。

活動内容

- 1、企業内支部情報誌の発刊
- 2、連絡協議会及び懇親会の開催
- 3、母校への支援

## 企業内支部情報誌とは

会員企業はもとより、3学年生徒・父兄全員と学校の先生方に配布され、就職活動の一助になることを発刊の主なる目的としています。



チャレンジ95「明日へのゴールへキックオフ」と題して、企業内支部情報誌の第2号を発刊することができました。この中で前同窓会会長先崎一郎氏は、次のようなメッセージを寄せておられますので、御紹介致します。

最後に、原稿をお寄せいただいた各企業及び広告掲載の御協力をいただいた各企業に厚く御礼を申し上げます。また、第3号、第4号と続くことを念じる次第であります。

## 後輩の皆さんへ

早いもので、郡山北工業高校同窓会が新しい試みとして企画した「企業内支部情報誌」も第2号を発刊することができました。この情報誌に掲載されている企業は、すべて先輩たちが自ら活躍している職場か、先輩達が自らオーナーとして経営している企業であります。そして、「どうだ、俺たちと一緒に働いてみないか!」という、いわば後輩へのメッセージがこの情報誌であります。

これまでの統計や傾向を見ましても、先輩、後輩の絆が強い企業に就職した生徒の定着率は極めて高く、またプロとしての成長も早いという結果が出ています。さらに、現在の同窓会組織は、企業内支部の集合体として運営されており、従って、学校側とのコミュニケーションも万全であり、社会へ出てからも同窓会活動を通じて、お世話になった学校や先生方、そして先輩、後輩、同級生たちとの交流も続けることができますし、もっと大事な事は、各支部との異業種交流による情報の交換や、人脈の構築が、個人や企業にとっても大切な財産になることでもあります。

これからの技術者は、専門分野にのみ偏重しては良い仕事できません。専門外の知識や情報も、広く、浅く身につけることが重要です。それには人のネットワークが欠かせません。そのような意味でどうか、社会へ出てからも同窓会を大いに活用して頂き、立派に成長してほしいと願っているところです。皆さんの成功を心からお祈りして、メッセージとします。



福島県立郡山北工業高等学校  
前同窓会会長 先崎一郎



# めざせ日本一

校長 北原 正三



同窓会員の皆様方には、日頃より母校発展のため、いろいろとご尽力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、このたび同窓会発展の基礎づくりから今日の隆盛を得ましたのは先崎一郎会長さんを始め役員の方々の御功績であります。その先崎氏が会長の任を退か

れ淋しいつばいです。長い間ごろうさまでした。新会長に増子久治氏がなられ大変心強く感じます。どうぞよろしくお願いします。地元福島から遠く離れて活躍しておられる各会員の皆様そして、先般大変お世話になりました日立支部の皆様、東京支部の皆様、また、水戸支部の皆様方の大変ありがたいご支援、ご協力に対し厚くお礼申し上げます。本校に着任し三年目を迎えました。着任以来、機会あるごとに「めざせ日本一の工業高校に」と、教職員と生徒が一体となつて努力しているところであり、質実剛健を旨とし、調和ある、創造力に富んだ、特色ある工業技術者をめざし頑張つていきます。本年環境システム科が設置され一年生四〇名第一回生としてプライドを持って努力しています。機械科三六名、電気科二二六名、電子科一一八名、情報技術科一一六名、建築科一一九名、化学工学科三三五名、全校生一一八〇名内女子一八一名であります、生徒一人ひとりは、しっかりとした目標を持ち、自分の希望する進路実現のため日夜努力しています。

本校の施設・設備の充実は東北一であ

ろうと自負しています。その恵まれた環境の中で学ぶ子供達は大変に幸せ者です。自分の持てる能力を最大限発揮し、勉学に、部活動に、資格取得に、青春のエネルギーを燃焼させたいと考えています。昨年はより高度な技術を求めて大学へ進学した者が、延べ三十三名で、東北大学、山形大学、福島大学、会津大学、茨城大学、八戸工大、東北工大、日大など十六の大学にのびります。また就職先についても一流企業といわれる数多くの会社に入社できました。これも先輩各位の実績が評価されたものと感謝しています。就職もほぼ全員が決定しています。部活動も大活躍いたしました。第五十回福島国体では本校主体選手の少年ソフトボール準優勝、レスリング競技宍戸哲治君三位（本校には部がない）サッカー部、陸上競技棒高飛びにも出場、また国体に花を添えたのが吹奏楽部のマーチング演奏であります。東北大会優秀賞受賞・アイスホッケー競技、スピードスケート競技では県下敵なし、全種目一位、総合一位ですが全国入賞にはもう一步のレベルアップをはかる必要があると思います。

大変申し遅れましたが計報でございます。平成七年一月二十六日本校建築科職員、菅野昭二先生が逝去されました。前年の夏休みに体調が思わしくなく、福島市内の病院に入院され、退院されたが年末再度入院し、帰らぬ人となりました。先生の数多くの業績は不滅です。どうか安らかに眠りください。

## ●定時制だより●

### 蛍の光、窓の雪？

定時制教頭 今村 昭司

「定時制、大変ですね。」という言葉をかけていただくことがあります。たしかに、夜九時までの授業と十時までの勤務ですから、一日二十四時間の過ごし方は変則的ですが、慣れてしまえばそれほどとまどいはありません。ただ、「蛍の光、窓の雪」ならぬ、蒸し暑いときの羽蟻の来襲や今冬のもがり笛を思わせる雪風などには、さすがに定時制の厳しさを痛感します。

その中を登校する生徒は、なかなか大変なはずですがよく休まず通ってきます。四年間勤労と勉学を両立させて立派に卒業してほしいと期待しています。創立二十周年を迎えて、生徒会長は四十九歳の渡辺弘二君！となりました。PTAは、OBの大内菊夫さんに盛り立てていただいています。定時制は、教科書と給食費補助の制約など、周りの厳しさも増してきていますが、めげずに邁進しようという意気込みです。よろしくご支援の程をお願いします。



先輩諸氏がそれぞれ要職につかれご多忙の中、その勤務先がそれぞれ異なる中での支部活動は、容易なことではないと推察いたします。また、限られた予算の中での支部運営も、大変な御苦労があると思います。支部役員のみなさまにあつく感謝申し上げる次第です。本部でも、できる限りの支援をするため更に、努力をして行きたいと考えております。

### 日立支部

日立支部（創立40周年記念）総会（七海清支部会長）が平成7年6月9日（金）日立市・初崎保健センターで30数名が参加して行われました。

本校からは、北原正三校長・増子久治同窓会会長・外山茂事務局長の3人が参加しました。また、水戸支部長の山崎功氏、水戸支部理事の八代正雄氏が参加され、盛会の中楽しく懇談することができました。

今回は日立支部創立40周年にあたり、その記念事業と



郡山北工同窓会日立支部（創立40周年）



郡山北工同窓会日立支部（創立40周年記念）総会

して、母校への「桜の木」の贈呈が行われました。本校の環境整備計画にあわせ、植樹したいと思っております。幾度にもわたる御寄贈誠に有り難うございます。

### 東京支部



東京支部総会（小野寺昭支部長）が、平成7年6月17日（土）東京・上野の精養軒で、約50人が参加して行われました。本校から



校長は「今年度から環境システム科の生徒40人が入学し、実習室も増築された」

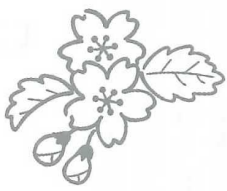
は、北原正三校長・増子久治同窓会会長・外山茂事務局長の3人が参加しました。あいつに立つた北原

と母校の近況を報告しました。さらに、「来年度は創立20周年で記念誌発行なども検討している」と話し、在京の卒業生へ協力も呼びかけました。また、本部事務局からは、企業内支部情報誌の第2号発刊や創立20周年記念事業として同窓会員名簿の発刊、校歌碑の移転についての状況報告が行われました。懇親会では、懐かしい高校時代の話から、昨今の景気動向まであちらこちらに話しの輪が出来ておりました。尚、この会の様子が後日7月19日（水）付けの毎日新聞に掲載されました。

### 水戸支部

水戸支部総会（山崎功支部長）が平成7年7月15日（土）なかみなと市・グランドホテル武田で約30名が参加して行われました。

本校からは石井憲胤教頭・増子久治同窓会会長・外山茂事務局長の3人が参加しました。また、日本支部より七海支部長・荒木事務局長、東京支部より小野寺支部長が参加され、盛会のなか楽しく懇談することができました。



平成7年度郡山北工同窓会水戸支部総会





# 生徒会だより

生徒会顧問 二瓶益幸

今年度の生徒会活動状況について、記録を辿りながら総括してみたいと思います。

四月、四百名の新入生を迎え、今年度がスタートしました。五、六月の高校総体予選では、参加部が全て県大会に駒を進め、バレーボール部・水泳部が東北大会、さらに、ソフトボール部・陸上部・レスリングが全国大会出場を果たしました。

七月、校内体育大会が行われたが、今年は三日間雨にたたられ、リレー・ソフト・サッカーができず、不満の残る大会になりました。夏の高校野球県大会では、会津工に惜敗し、今年も甲子園の夢は消え去りました。



十月、福島国体・秋季大会が県内各地で開催され、本校からは、ソフトボール・サッカー・陸上・レスリングの四種目に十五名が参加し、レスリングの宍戸哲治君（建二）が三位入賞、本校主力のソフトボールでは、昨年に続き準優勝に輝きました。その他、各会場で、補助役員として活躍した生徒も多く、連日、大変御苦労様でした。

ソフトボール部は、さらに、四年連続、春の全国大会出場権を得ました。

十一月、『翔け！二十一世紀のスペシャルスト達』をテーマに、第六回北嶺祭が、二日間盛大に開催されました。各科発表・各部発表・バザー・パレード等、どの催しも内外より高い評価を得、改めて、北工生の実力が高いことが



が証明されたように思います。学芸関係では、吹奏楽部のマーチング東北大会での優秀賞受賞や、ロボット競技会県大会での、機械科チームの優勝及び全国大会出場など活躍が目立ちました。

北嶺祭で証明された、北工生の実力の高さが、さらに高くなることを祈念します。



## て ◆ 来 ◆ に ◆ 制 ◆ 時 ◆ 定

生徒会顧問 武藤 次雄



同窓の絆は生涯付いて廻るものである。自分の高校時代を振り返っても、一年上というだけで先輩には絶対服従であり、後輩は顎で使っていたものである。しかし半面、面倒見の良さ、優しさはとても他人とは思えない近親感がある。それは丁度、川に放たれた稚魚が、大海で出会う時の感動にも似て力強いものである。

新生北工が成って二十年、数々の輝かしい業績と共に、旧郡工から引き継いだ定時制三十七年の歴史も、いぶし銀の如く重く輝いている。私は幸いにして旧西工、旧郡工、そして北工と通算十三年お世話になり、「外から」定時制の生徒達を見てきたのであるが、今回縁あって彼らと同居することになったことは、自分の成長にとってもたいへん幸運であったと思っている。「いじめ」や「不登校」の問題が社会問題化している中で、我定時制においてはほとんど問題にならない。暗い通学路とは対称的に彼らにはいつも明るい家族集団なのである。一年も居ればほとんどの生徒の名前や気性が分かり、対応の仕方も心得てくる。個性豊かで人間の臭いがプンプンする毎日、教育とは何か、学校とは何か、能力とは・・・外からは見えなかった新しい発見に感動すら覚えるのである。昼働いて尚、疲れた体に鞭打って夜道を急ぐ彼ら、資格、検定、大会と課せられた負荷は決して軽くないが、どうか、ひたむきな彼らの活動を今後共、力強く支えて下さる様、同窓生諸兄にお願いする次第である。

# 部活動の活躍

## 全国高校野球選手権福島大会

野球部

ソフトボール部 南東北大会……………優勝

陸上部

棒高跳 菅野卓弥……………出場

レスリング競技115Kg級

空戸哲治……………出場

## 東北高校体育大会

ソフトボール部……………優勝

## 第50回国民体育大会

ソフトボール部

(福島県選抜チーム)……………準優勝

陸上部

棒高跳 菅野卓弥……………出場

レスリング競技88Kg級

空戸哲治……………優勝

## 東北高校総合体育大会

陸上部

棒高跳 菅野卓弥……………優勝

## 南東北高校新人大会

陸上部

5000m競歩 菅野起世……………優勝

## 県高校新人大会

バドミントン部 学校対抗……………ベスト8

ダブルス 近藤・橋本……………ベスト8

陸上部

棒高跳 菅野卓弥……………1位

5000m競歩 菅野起世……………優勝

ソフトボール部……………優勝

卓球部 学校対抗……………ベスト8

サッカー部……………ベスト8

バレーボール部……………3位

レスリング競技115Kg級

空戸哲治……………優勝

## 県総合体育大会

陸上部

棒高跳 菅野卓弥……………1位

5000m競歩 菅野起世……………優勝

ソフトボール部……………優勝

バレーボール部……………2位

レスリング競技115Kg級

空戸哲治……………優勝

## 県高校体育大会

バレーボール部……………2位

バドミントン部 学校対抗……………ベスト8

ソフトボール部……………優勝

レスリング競技115Kg級

空戸哲治……………優勝

## 春の高校バレー

バレーボール部……………準優勝

## 第41回福島県高等学校体育大会スケート競技会

男子500m……………第1位

本田浩史41秒28(県高校タイ) 大会新  
1位から5位独占

男子1000m……………第1位

本田浩史1分23秒66(大会新)

1位から6位独占

男子1500m……………第1位

大内智則2分19秒12

1位から3位独占

男子5000m……………第1位

渡辺良光7分50秒39(県高校タイ) 大会新

1位から4位独占

男子10000m……………第1位

吉田 満16分52秒37

1位2位独占

男子2000mリレー……………第1位

郡山北工業高校(本田、鈴木、大内、小林) 2分52秒09(県新、県高校タイ、大会新)

学校対抗 男子 91点……………優勝

女子500m……………第1位

菅野寿子50秒21

女子1000m……………第1位

菅野寿子1分36秒11(県高校新、大会新)

学校対抗 女子 12点……………優勝

## 第7回東北高等学校体育大会スケート競技会スピード競技

男子500m……………第3位

本田浩史41秒18(県高校新)

学校対抗 男子13点……………第4位

女子500m……………第3位

菅野寿子47秒91

学校対抗 女子 5点……………第5位

## 第48回福島県総合体育大会スケート(スピード)競技会

男子500m……………第1位

本田浩史41秒73(大会新)  
1位から3位独占

男子1000m……………第1位

大内智則1分22秒46(大会新)

1位から3位独占

男子1500m……………第1位

大内智則2分11秒39

1位から3位独占

男子5000m……………第1位

渡辺良光7分55秒07(大会新)

1位から3位独占

男子10000m……………第1位

渡辺良光15分58秒39(大会新)

1位3位独占

女子500m……………第1位

菅野寿子47秒82(大会新)

女子1000m……………第1位

菅野寿子1分35秒49

## 第45回全国高等学校体育大会スケート競技会

男女7名出場

## 第51回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会

男子500m……………第6位

本田浩史41秒89 他7名出場

## マーチングフェスティバル 東北大会

吹奏楽部……………優秀賞

## アンサンブルコンテスト打楽器七十奏県大会

吹奏楽部……………銅賞



# 進路指導

## 本校の進路状況の移り変わり(2)

進路指導主事 高久田 稔

昨年度に引き続き、本年度の進路状況を数値化してみました。  
先ず本年度の3年生の進路状況は12月末で次の通りです。

平成7年度 進路内定状況 ( )は女子内数

科	機械	電気	電子	情報	建築	化工	合計
在籍数	116	79	40(2)	37(19)	39(12)	77(45)	388(78)
就職内定数	48	32	20(2)	19(10)	16(5)	26(16)	161(33)
就職内定率	41%	40%	50%	51%	41%	33%	41%
進学者数	2/2	1/2	0/0	0/0	1/2	0/3	4/9
進学者数	67	54	25(2)	28(15)	26(5)	43(19)	243(41)
進学者数	3	5	2	2	5(1)	3(2)	20(3)
進学者数	短大				2(2)	1(1)	3(3)
進学者数	専門	21	6	9	2(2)	3(2)	44(7)
進学者数	計	24	11	11	4(2)	10(6)	67(13)
就職希望者	9	8	0	3(1)	0	24(19)	44(20)
進学希望者	15	6	4	2(1)	3(1)	3(2)	33(4)
合計	115	79	40(2)	37(19)	39(12)	77(45)	387(78)

例年とちがう点をあげますと、女子の数が今までになく多いこと、女子の未定者の数が多いこと、希望者を含めた進学者の数が25%をこえていること、大学合格者が20名になったことなどでしょう。未定者の内自分の進路について不定の者が特に男子に多く来てきているのも最近の特徴です。

●求人数は相変わらず減少の一途をたどっていますが、男子に対する県内の求人が昨年よりも増加しています。これは国体がらみの一時的なものかどうかは来年度まで待たないと判りませんが、一つの明るい材料でありましょう。  
●同様に県内の製造業からの求人が増えて来ました。  
●進路希望調査では昨今の経済状況を反映してか、男女共進学希望が増えて来ました。  
●今年度の12月末での内定状況を見ますと、3年生の4人に1人が進学する事になり、今後の進路指導のあり方に課題を与えられた事となりました。  
●就職の内定率は女子の内定率が大きく落ち込んでしまい、過去最低となりました。これは女子に対する求人数、求人数が減った事と、専門学校、短大との競合となる事が多く、倍率が男子の数倍となった事に起因しています。今後は女子に対するより細かな進路指導の必要を痛感した一年でした。  
このように今までになく厳しい進路状況でありましたが、卒業生の皆さん方大変救われました。企業で求人票を出す場合に今までとは逆に学校を指定するようになり、その際、「北工から是非」と云われる事が多くなりました。卒業生の皆さん方の企業での評価が反映された結果であり、大変有り難いことでもあります。どうか今後共、後輩達のご指導を宜しくお願い致します。

### —本校進路状況の移り変わり—

#### 1. 求人数

年度	県内 (12月末現在)			県外		
	男子	女子	不問	男子	女子	不問
4年	650	124		2424	181	
5年	622	65		1726	95	
6年	416	57	98	1073	89	156
7年	468	50	103	618	48	145



#### 2. 主要産業別求人率

年度	①県内 ( ) 女子 (12月末現在)						
	建設	製造	電気ガス	運輸通信	卸小売	サービス	その他
4年	14% (10%)	53% (63%)	0.5% (0%)	3% (2%)	19% (13%)	9% (11%)	
5年	20 (19)	45 (46)	1 (0)	2 (0)	17 (9)	10 (26)	
6年	26 (11)	41 (47)	0.5 (0)	0.5 (5)	19 (18)	13 (19)	
7年	23 (14)	46 (54)	3.6 (0)	1.1 (4)	14 (12)	12 (16)	
4年	16% (13%)	46% (51%)	0.2% (0%)	5% (6%)	11% (20%)	22% (10%)	
5年	22 (21)	43 (50)	0.5 (0)	5 (0)	12 (14)	13 (15)	
6年	23 (15)	33 (34)	2 (0)	3 (2)	20 (29)	19 (20)	
7年	21 (0)	36 (46)	4 (0)	3 (0)	20 (15)	16 (38)	

#### 3. 進路希望の移り変わり

年度	就職希望 (6月1日現在)				進学希望			
	県内	県外	大学・短大	専門学校	県内	県外	大学	専門学校
4年	53% (61%)	24% (22%)	10% (8%)	13% (9%)				
5年	56 (59)	21 (27)	8 (9)	15 (5)				
6年	52 (54)	28 (35)	8 (5)	12 (6)				
7年	52 (55)	21 (18)	13 (9)	15 (18)				



#### 4. 進路先別内訳 (年度末)

年度	就職			進学		
	就職	県内	県外	進学	大学	専門学校
4年	80.3% (84.3)	71.0% (79.1)	29.0% (20.9)	19.7% (15.7)	25.8% (25.0)	74.2% (75.0)
5年	75.5 (89.2)	61.9 (69.7)	38.1 (30.3)	24.5 (10.8)	22.4 (25.0)	77.6 (75.0)
6年	81.0 (84.0)	68.7 (68.4)	31.3 (31.6)	19.0 (16.0)	30.2 (42.9)	69.8 (57.1)
7年	74.0 (75.9)	70.4 (80.5)	29.6 (19.5)	26.0 (24.1)	31.5 (46.2)	68.5 (53.8)



#### 5. 就職内定率

年度	男子	女子	平均
4年	91.8%	95.7%	92.4%
5年	93.1%	94.4%	93.3%
6年	81.5%	76.6%	80.8%
7年	83.6%	67.2%	80.1%





## 平成6年度 基本金報告

### 1. 収入の部

項目	金額	備考
繰越金	5,230,015円	
本年度基本金	470,000円	796人 (-7,600)
雑収入	194,313円	分配金 193,800+513
合計	5,894,328円	

### 2. 支出の部 0円

### 3. 残高 5,894,328円

- ・中国ファンド 5,842,948円
- ・定期預金 51,380円

## 平成6年度 決算報告

- 1 収支総額 4,312,148円
- 2 支出総額 3,480,939円
- 3 差引残高 831,209円

### 1. 収入の部

項目	予算額	決算額	増△減	備考
繰越金	1,139,579	1,319,579	0	
会費	1,182,000	1,164,000	△ 18,000	(380+8)×3000
入会金	1,224,000	1,227,000	3,000	(400+1+8)×3000
会誌広告料	340,000	280,000	△ 60,000	広告掲載料 (14社)
北窓会助成金	300,000	300,000	0	北窓会からの助成金
雑収入	34,421	21,569	△ 12,852	名簿、総会残金、利息
合計	4,400,000	4,312,148	△ 87,852	

### 2. 支出の部

項目	6年度予算額	決算額	増△減	備考
基本金	481,200	470,000	△ 11,200	796×3000×0.2-7600
特別基本金	0	0	0	
会議費	400,000	233,265	△ 166,735	三役会、幹事会など
事務費	50,000	5,356	△ 44,644	ゼロテープなど
慶弔費	300,000	261,819	△ 38,181	餞別、賞品、香典など
通信費	950,000	1,136,594	186,594	会報送料、葉書、切手
旅費	150,000	48,040	△ 101,960	日立支部総会
会誌編集費	600,000	636,800	36,800	会誌印刷
渉外費	200,000	82,300	△ 117,700	関係機関との渉外諸費
卒業生諸費	350,000	296,765	△ 53,235	卒業記念品、名簿印刷
事務局費	160,000	160,000	0	事務局
工業祭	0	0	0	
支部助成金	150,000	50,000	△ 100,000	日立支部
学校案内助成	100,000	100,000	0	印刷
予備費	508,800	0	△ 508,800	
合計	4,400,000	3,480,939	△ 919,061	

※差引残高 831,209円は次年度へ繰り越します。

## 平成6年度 会務報告

月日	行事名	内容等	場所
H6.4.27	会計監査		学校
28	会報発送		
5.9	幹事会	平成6年度総会について	ホテルマワ
13	三役会	〃	〃
6.1	情報誌発行	企業内支部情報誌	ホテルマワ
4	平成6年度定期総会	320名出席	ホテルマワ
10	日立支部総会	増子副会長、学校長、外山事務局次長出席	日立市
27	企業内支部連絡協議会		ホテルマワ
7.25	総会反省会		ホテルマワ
10.22	日立支部母校訪問	就職内定者との懇談会	学校
12.13	会報編集会議		エントナバ
H7.2.15	三役会	平成7年度定期総会について	学校
28	同窓会入会式(全・定)	先崎会長、今泉副会長、増子副会長、佐久間副会長、渡辺顧問出席	学校
3.1	第18回卒業式		学校
14	三役会	役員人事について	学校
23	幹事会	平成7年度定期総会について	ホテルマワ

## 平成7年度 転入者一覧

全日制			
教科等	氏名	教科等	氏名
情報技術	佐久間貞治	建築	斎藤久志郎
家庭	五十嵐とし子	数学	菅野 浩
環境システム	青木 亨	家庭	鈴木真由美
建築	二瓶 賢一	保健体育	影山 高見
化学工学	小野 一夫	保健体育	鈴木 聖也
建築	菅原 賢治	機械	水田 守
建築	宍戸 孝雄	事務	吉田 敏郎
化学工学	滝川 雅子	事務	吉田 郁夫
機械	小湊 澄	事務	黒須 暁子
養護	小野里麻紀子	事務	吉田 健一
定時制			
電気	久家 克士	電気	武藤 次雄

※敬称略

## 人事異動に伴う退職・転出者一覧

全日制			
教科等	氏名	教科等	氏名
化学工学	佐藤 宗才	家庭	白岩美代子
建築	斎藤久志郎	事務	須藤 礼子
保健体育	三留 邦俊	数学	春山 登
国語	龍口 正宏	情報技術	本田 毅
国語	伊藤 哲朗	機械	根本 光男
数学	菅野 浩	建築	高荒 昭夫
機械	木村 博司	化学工学	影山 清子
社会	飯豊 格也	事務	柳田 達伸
建築	小野 雅史	事務	熊坂 健治
養護	小野里麻紀子	事務	渡辺 千尋
定時制			
電気	大森 宏昭	電気	真田 郁夫

※敬称略

## 平成6年度新会員報告

全日制	
科	人数
機械科	117名
電気科	74名
電子科	39名
情報技術科	40名
建築科	37名
化学工学科	77名
小計	380名
定時制	
工業科	8名
小計	8名
合計	388名



…事務局だより…

故水島(旧姓七海)武夫氏(29建築卒)の愛読書(建築関係書41巻)を水島久美子様より、ご寄贈頂きました。

故関根健一先生(元本校教頭・二本松工校長等歴任)の追悼書20冊、(発行者故人の長女にあたる箱石敏子様)を田村良一氏(30機卒)より、ご寄贈頂きました。

紙面を借りて、厚く御礼申し上げますと共に、故人のご冥福を心よりお祈り致します。

これらの貴重な書は、在校生・卒業生のためになるような方法で利用したいと思っております。

今年は創立20年を迎え、記念事業等なにかとお世話になるかと存じます。

今後共、同窓会に対してご理解とご協力の程を、よろしくお願い申し上げます。

～同窓会定期総会開催のお知らせ～

平成8年度定期総会を下記のように開催いたします。

多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 日時 6月15日(土) 午後6時より
2. 場所 ホテルはまつ (郡山市虎丸町)  
TEL (0249) 35-1111
3. 会費 5,000円 (平成7年度卒業生は3,000円)

※詳細については同窓会事務局へお問い合わせ下さい。

同窓会事務局(郡山北工内) TEL (0249) 32-1199

同窓会名簿発行のお知らせ

平成9年2月に発行予定

郡山北工創立10周年の記念事業の一つとして昭和62年に同窓会名簿が発行されて10年が経とうとしております。その間、会員の移動、新規会員の入会等により新しい名簿の発行の声が聞かれるようになりました。

つきましては、創立20周年(平成8年)の記念事業の一つとして発行したいと考えています。

発行に際しては、会員の皆様には必ず同窓会長名でご案内、また住所等の確認の通知をさせていただきます。昨今同窓会の名を語り、電話による住所等の確認や葉書による名簿発行販売などの被害報告もあり、また、今後考えられることでもありますので、十分ご注意下さい。

なお、ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせ下さい。

校歌碑移転のお知らせ

平成8年中

北工創立20周年記念事業の一つとして、校歌碑の移転を考えております。現在、旧郡工・旧西工に設置されている2校の校歌碑を、本校に移転・設置したいと考えております。新たな沿革碑も必要かと思われまます。

環境システム科の新設

◎環境システム科では生活環境の快適さを求めて、高層ビルから個人住宅に至るまで、住空間を豊かにするための基礎的な知識や技術について学習します。

◎製図や実験・実習を通して、空調の設計・施工・運転・保守、給排水衛生設備の計画・設計・施工、防災設備の仕組み、太陽エネルギー利用のソーラーシステム、コンピュータによるビル設備管理などの先端技術、これらに関連する機械・電気・建築・化学などの基礎知識を学びます。



●中央監視システム実習

営業品目

火災報知設備・構内交換電話設備・消化設備・防火排煙設備・非常用放送設備・テレビ共聴設備  
消化器・防犯設備・以上に附帯する一切の業務

田村通信防災工業株式会社

代表取締役 増子 久治 (昭和42年度電気科卒)

郡山市安積町荒井字下北井前4-1

☎(0249)45-2882(代) FAX(0249)46-2875

通信販売始めました

ヨシダの  
手造りみそ

我が  
CGに  
不可能はない。

印刷機材総合販売・デジタル製版・マルチメディア関連事業  
株式会社ヨシダコーポレーション  
YOSHIDA

本社 / 〒963-07 郡山市田村町上行合字北川田22-1  
☎ 0249(42)0005 FAX0249(42)2233

ご注文・お問い合わせは  
社名 株式会社ヨシダ  
製造工場 福島県西白河郡原町村  
本工場 本宮市本宮  
販売営業所 福島県郡山市田村町上行合字北川田22-1  
TEL 0249(42)1101  
FAX 0249(42)2233

建設資材総合メーカー

# kyo 株式会社キョウエイ

代表取締役会長 猪越 幹雄 (昭和30年度機械科卒)  
代表取締役社長 高橋 敏夫

本社/〒962-04 福島県須賀川市大字滑川字中津沢46-1 TEL.0249-76-0215(代) FAX0249-75-1789  
関東支店/〒339 埼玉県岩槻市大字掛字下460-5 TEL.048-758-1610(代) FAX048-758-1676  
仙台営業所/〒983 宮城県仙台市若林区六丁の目南町4-45 TEL.022-287-5411(代) FAX022-287-5415  
千葉営業所/〒263 千葉県千葉市福毛区小深町47 TEL.043-422-1906(代) FAX043-422-6639  
●工場/郡山・須賀川・鏡石・千葉・岩槻 ●配送センター/須賀川・関東

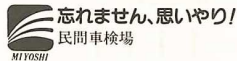
●カーコンサルタント

# 株式会社 今川

代表取締役 今川 直彦 (昭和34年度機械科卒)

本社〒963-01 郡山市安積町荒井東前田37-3 ☎(0249)45-1623(代)  
車検センター 郡山市安積二丁目184-1 ☎(0249)45-8300  
成田工場 郡山市安積町成田字高田47 ☎(0249)45-2478

日教済指定工場



有限会社

# 三善自動車工業

〒963 郡山市富久山町福原字中田14  
PHONE.(代)22-5088 FAX.22-5625



# 株式会社 清水工業

取締役社長 清水 善一 (昭和31年度建築科卒)  
一級建築士第46405

〒963 福島県郡山市西ノ内一丁目11番7号  
☎ (0249) 32-4318(代)  
FAX (0249) 33-2196

県建設業登録許可番号(特-5)第3537号

須賀川市水道工事公認店

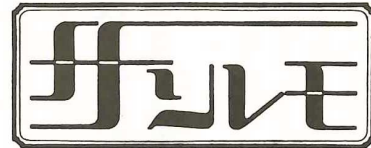
給排水・給湯・衛生・冷暖房・空気調和設備工事

# IS 春日設備工業株式会社

代表取締役 春日 力 (昭和40年度建築科)

福島県須賀川市堀底町18  
☎ (0248) 76-2131(代)  
☎ (0248) 76-2132

ビュープラザ店(婦人服・ハンドバック) 郡山市中町3-1ビュープラザ1階 ☎24-1144  
希望ヶ丘店(袋物・靴・アクセサリー) 郡山市富田町大徳南アーデン内 ☎52-0511



事務所 郡山市中町3-1 ☎0249-32-2140  
今泉 善治 (昭和26年度機械科卒)  
今泉 善英 (昭和31年度建築科卒)

精密金型設計製作・金属プレス精密加工・静電塗装・植毛・シルク印刷  
部品組立・木工製品製造・パーツから組立完成までの一貫加工メーカー



# 石橋工業株式会社

代表取締役会長 石橋 隆純  
代表取締役社長 石橋 邦勝 (昭和33年度機械科卒)  
取締役管理総務部長 桑名 武義 (昭和35年度機械科卒)

郡山市安積町成田字三渡1 TEL (0249) 45-3411 FAX (0249) 45-0176  
関連事業 アクト技研㈱ N Cワイヤー、レーザー加工 TEL (0249) 47-3690  
よもぎ堂<離れ 石橋亭、松露亭、四季亭> TEL (0249) 84-2671

鋼構造物製作

福島県知事許可(般-2)第2528号

全国鉄構工業連合会・鋼構造物製作工場認定第02.M.6018号



代表取締役 橋本 保一 (昭和35年度機械科卒)

本社工場/福島県郡山市田村町上行合字下川原97番地  
電話0249(44)3213(代表) FAX0249(44)3218

<確かな技術が未来を築く>

火力発電プラント・各種プラント設計製作



# 東陽工業株式会社

取締役社長 大塚 正博 (昭和30年度機械科卒)  
取締役 落合 弘 (昭和32年度機械科卒)

本社工場 〒969-11 安達郡本宮町青田字花掛20  
TEL.0243(34)2730(代) FAX0243(33)3790  
白沢工場 〒969-12 安達郡白沢村和田字諏訪10  
TEL.0243(44)4307 FAX0243(44)4308

# TEP

# 株式会社 東北エントープライズ

取締役社長 先崎 一郎 (昭和31年度機械科卒)

本社 ●福島県郡山市開成4-8-15 〒963 TEL.0249-33-2555(代) FAX0249-23-2555  
仙台支店 ●仙台市青葉区立町20-10(ピースビル西公園4F) 〒980 TEL.022-265-6382(代) FAX.022-265-6395  
■空気調和設備、給排水衛生設備の設計・施工および保守管理



弱電部品製造・精密金型製造、販売

# 株式会社 ザイン

代表取締役 鈴木 廣哉 (昭和40年度機械科卒)

〒963 福島県郡山市富久山町福原字宝田46番1  
TEL (0249) 34-0699  
FAX (0249) 22-7403

工作機械 作業工具  
板金機械 測定工具  
熔接機材 研磨材

# 株式会社 伊藤商店機材部

代表取締役 伊藤 シク子

〒963 郡山市菜根5丁目21番13号  
電話 郡山 0249-33-0611(代表) FAX 郡山 0249-34-7113